



# 生命尊重推進の会 天使のほほえみ

会報 第19号

イラスト © あべまりあ

## 発行所

NPO 法人 天使のほほえみ

発行人 鎌田久子

編集人 福島 紀 (代) 野田滋美

昨年三月十一日に発生した東日本大震災で犠牲となられた方々に  
衷心より哀悼の意を表しますとともに、被災された多数の皆さま方に  
心よりのお見舞いを申し上げます。

## 理事長挨拶

鎌田久子

皆さま 明けまして  
お芽出とうざいます。

昨年は多事多難な年だったせいか、非常に短く感じる一年でした。

現政権が繰り出す閣議決定法案

①「夫婦別姓」②「外国人参政権」

③「沖縄に中共人民(工作員も含む)

一千万人移民」④「人権擁護法案」

一は、東北の被災者救済対策より

も、迅速に国会成立を自論んでいる

法案です。

皆様も各地でこの日本解體法案

成立阻止反対集会に参加されたこ

とでしよう。

現政権が命がけで取り組まない

「拉致被害者救出」のデモ行進。「尖

閣諸島をはじめ我が国の領土領海

を守るための請願署名」運動。街宣

活動にも幹部が携わらせて頂きま

した。

こうした国民運動に携わりなが

ら、去来する切実な思い―それは将

来「天使のほほえみ」も街頭に立ち

全国的規模で、

「中絶は殺人行為。お腹の赤ちゃん大切に。」「みんなで守ろう、お腹の赤ちゃん。みんなで防ごう、人工中絶。」の立て看板二本を用意し、生命尊重の意義を訴えてゆく。また署名活動は、組織を通じて常時展開して参りたいと思います。

かつて七百万名の署名を集めて、衆議院では可決された経験がございます。夢は、希望は、構りによって必ず実現します。

この度、大震災で被災された方々に対し、

「日本人は冷静で、他者との調和を保ち、礼儀を守り、商店などからの略奪も皆無である。」と、米国のCNNテレビが報じていました。

なぜ世界中から日本人が賞賛されるのか？

それは天皇皇后両陛下が、至高至純の愛と恵みを国民に降り注ぎ給ふ、神さながらの深き祈りを国民は魂で感受しているからです。

皇紀二千六百七十二年の歴史を有し、万世一系の天皇陛下を仰ぐ

靈(ひ)の本に生を享けたこの喜び、この辱けなき。深甚より篤き感謝を捧げつつ・・・。

皆さま、本年もよろしく  
お願い申し上げます。



## 代々木一泊研修会ご報告

副理事長 野田滋美

当会の年間行事として、一泊研修会を10月29日、30日にかけて代々木の青少年総合センターにて行いました。

講話は、参議院議員 衛藤晟一先

生、「美し国」代表 菅家一比古先生

並びに当会理事長 鎌田久子によ

り、総合テーマ「日本よ、勁く、正

しく、美しくあれ」の下に、母体保

護法の淵源、人間生命の深奥、日本

と日本民族の情緒と使命、胎児の生

命の尊厳と中絶防止等につき、深く

学ばせて頂きました。

又、参議院議員 山谷えり子先生

と有村治子先生より祝電を頂き、ご披露させて頂きました。

参加者は宿泊、通い、一日のみを合せて46名となりました。

今回の研修会では、ご講話を聴く事が当然研修の中心ですが、宿泊の参加者は朝まだき6時過ぎから明治神宮参拝を行い、神韻とした中で「明治節」を奉唱しました。

これも心に沁みる研修でした。

朝まだき施設の庭の日の丸に

皆で歌える君が代うれし

大帝の御神霊坐す神宮の

御前に揃い「明治節」捧ぐ

研修室が40人部屋で、入り切れるかと心配をしていましたが、

どうにか収まり、無事に会を終了する事ができました。

今回の反省点を検討し、来年も

又、代々木のオリピック記念センターにて、さらに素晴らしい研修会にしたいと考えております。

## お友達をお誘い下さい

年会費	個人	正会員	二千元以上
		賛助会員	五千元以上
		篤志会員	一万元以上
	法人	一口	五千元以上

郵便振替口座  
00100-6-316987  
天使のほほえみ

(住所変更の際は是非ご連絡下さい)

代々木一泊研修会 第二講話

### 人間の尊厳性

「美し国」代表 菅家一比古先生

(頁数の関係で大変残念ですが、要点のみの記述とさせて頂きます。)

・人間の根本領域を霊魂(みたま)と言う。一霊四魂。直霊(なおひ)、奇魂(くしみたま)、幸魂(さちみたま)、和魂(にぎみたま)、荒魂(あらみたま)である。人間は神の分魂であり、直霊の中心には時間、空間、物質、過去、未来、エネルギーも全てが含まれている。いかにこの直霊を顕現、開発していくか。私にとってはその一番の妙法が古神道の禊行(みそぎぎょう)である。

・禊は元日禊から始める。「天の鳥船」を「エイ、エイ、エイ、…」と始め、日が出る数分前に海に入る。「大祓戸大神・・・」を称え続けると、お日様が水平線上から顔を出してくる。そして、頭在意識が低下し逆転し、根源的に眠っている直霊が目覚めてくる。とんでもない喜びに包まれて、全てが黄金色に輝いている神秘的体験を何度もした。立山の雄山や安曇野の有明山など

へも分け入って禊をした。

・大自然に分け入って行くのが古神道。山の麓にお社を建ててお参りするのが神道。

・古神道は禊を通して一霊四魂が揺り動かされる。自分から円環運動をして行くと、そこに中心が頭れてくる。罪、穢れが出てくるとしたら、循環機能を止める行為をした事が罪になる。

・あの世とこの世も循環であった、この世の命をあの世にしっかりと送ってあげなければならぬ。これが祭り、祀り、真釣りである。日本の仏教は大陸の仏教とは全く違う。

大陸には初七日、四十九日、一周忌、お彼岸、お盆なんて無い。全部神道から来ている。

・日本は13年連続で3万人以上の自殺者を出している。しかし3万人は公表値であり、未公表の自殺もある。世間で心不全、転落事故で片付けるものがある。これを入れたら5万人。その十倍の50万人が自殺未遂。その十倍の500万人が自殺願望者である。

・年間5万人の人が自殺するとはどういう事か。どうしてか。生命が軽くなった、ドライ化したとも言われている。それを元に戻さねばならない。

・建設、医者、教育者、全てがドライになってしまった。濡れタオルをドライヤーで乾かすと乾く。更に乾かし続けるとタオルはポロボロになる。現在はその様な状況になっている。

・昔、日本男児は涕泣史談(ていきゅうしだん)した。日本は世界一の母性の国である。日本男児は世界一の母の下に生まれた。しかし、明治から「泣くな、頑張れ」と言う事が言われはじめた。



・日本人は心に「優しみ」「愛(かな)しみ」が根本にある。日本人は戦前の軍歌華やかなりし頃でも「湖畔の宿」のような感情を歌っていた。「悲しみ」が本当の姿と知っていた。

・「涙に力あり。」涙には浄化力がある。子のために泣いてくれるのは母だ。その涙と祈りで子

供は浄化され、正しいものに復元していく。この母子の絆が人生の中心軸だ。

・しかし、最近母親が授乳している時、赤ちゃんの目を見ながら携帯メールをしている。赤ちゃんがいろいろな葛藤や感情表現している時、母親がきちんと向き合っていないと、元いた所一母の胎内の安心できる温かみへ戻ろうとして退行現象が出てくる。

・生後20ヶ月の間が重要だ。母さんの温かい眼差しと温もりの中で、抱きしめてあげて解決してあげると安心して一足飛びの成長をしていく。それが20回以上あると言われる。その繰り返しが重要だ。この時期にそれをせず、育児放棄や、怒ったり叩いたりしては、その子は生涯心に深い傷を負って生きて行く事になる。その様な若い母親に先輩である女性たちがしっかりとサポートしてあげなければならぬ。

「絆」は「傷なし」から来ている。母と子の絆は、母親が赤ちゃんの傷を舐めてなくしてあげるから「きずなし」という。赤ちゃんはそうように育てなければならぬ。

「いのち」は単に肉体生命の「い

のち」ばかりではない。会社にとって「いのち」は、その会社にとって絶対に崩してはならない「会社の理念」だ。

・同じく国家の「いのち」は、民族の霊感、直感により把握され神話、昔話等に話し継がれた、かくありたいとする「国家の理念」だ。

「美しい心の物語」これが日本の「いのち」「国柄」だ。

・幼い頃に心に受けた感激、衝撃により心の鋳型(レセプター)ができてくる。人はその心の鋳型に合う様な仕事や人生を生き始める。幼い頃に日本の「美しい心の物語」一桃太郎や一寸法師やかぐや姫物語などの昔話や神話を聞かせる事は大切だ。美しい体験をし、神秘的なものを見る事は大切だ。その最たるものは母の感動の姿だ。偉人の美しい物語、血沸き肉踊る偉人の物語を雨、霞(あられ)のように聞かせてあげることだ。

・古事記にも民族の根幹に流れる「美しい心の物語」は沢山ある。(二面上段へ)



(二面下段より)

一、伊邪那岐、伊邪那美の尊の天地の修理固成、天之御柱、やり直し、中心帰一、再生の物語  
二、仁徳天皇とウジノワキノイラツコの兄弟物語  
弟は仁徳天皇が即位すべきとして宇治川に入水。  
三、日本武尊と弟橘媛命の物語  
弟橘媛命は荒れる走水の海に尊のために入水。 等々

・天津真清水は宇宙の大中心から流れ出る理念  
・天津真清水を受けて止めているのが日本の情緒  
・天津真清水を受けて祭祀されているのが天皇陛下  
・それによつて、日本人の伝統的生き方、考え方が「清き」「明く」「直き」心になつている。

・「私」を大切にするという事は私の個の中心にある「魂(直霊)」を発見し、大切にするといい事だ。「日本」を大切にすること、事は、日本のいのものである「日本の国魂」を発見し、大切にすることという事だ。  
・日本は母なる国、世界人類の故里の国である。文明は日本から出発し、回つて日本に帰つてくる。日本は世界文明が帰つて来られる母なる国である。21世紀は世界人類の伊勢参りが始

まる。世界の伊勢が日の本である。日本人はその使命を自覚し、世界に伝えて行く必要がある。  
・私の「美し国」はそのために運動する団体です。 △

代々木一泊研修会 第一講話

母体保護法と日本の現状

理事長 鎌田久子



日本は有史以来、初めて敗戦を喫しました。日本が大東亜戦争に踏み切らなかつたら、この大戦前後の米国の日本への冷酷な仕打ちの数々を見ても、全アジア(黄・褐・黒)は、欧米諸国に隷属され、半永久的に独立できなかったでしょう。

しか独立していなかった世界に、現在は百九十四カ国の独立国家が生まれました。  
敗戦の痛手は受けましたが、アジアに独立をもたらした我が日本！ 皆様、誇らかに胸を張りましょう。日本は偉業を成し遂げたのです。

米連合国の、日本統治の合言葉は『日本が再び米国の脅威とならないように』でした。米国の六年八ヶ月に及ぶ占領政策は、日本を完膚なきまでに貶めました。  
特に国の根幹を司る憲法を、わずか一週間で起草し押し付けられた日本は、今だ独立国家の体を為しておりません。『日本なるもの』の背骨を抜かれ、プラスチック背骨を埋められてしまった日本。現憲法は、君主憲法(国民を慈しみ生かす)から民主憲法(国民の自我を助長し分裂させ、対立

させ)にされた、『天地逆転憲法』なのです。  
この憲法に連動して、米国は優秀な日本民族ジェノサイド(皆殺し)の意図の下に、昭和二十四年六月一日、優生保護法を施行させます。同月二十四日には『経済的理由』の文言を追加させ、殺人奨励法が成立してしまいました。平成八年には『母体保護法』と改名し、現在に至っています。  
① 日本の国家・国体をゆるがす現憲法を廃棄し、大日本帝国憲法に復元・改正する事。  
② 日本民族の滅亡を計る母体保護法十四条の『経済的理由』の五文字を削除し、『胎児保護法』を成立する事。  
一これが、日本に生まれた我等の使命だと存じます。実現を祈りましょう。  
七百二十年前、元は諸国を席卷し、日本を二度襲います。龜山上皇は、御身を以つてこの国難を代わらせ給えと、伊勢神宮と石清水八幡宮に祈願をされました。文永・弘安、十六万の敵を一万弱の兵で迎え撃ち苦戦を強いられた戦いは、一回とも台風が吹き、掃蕩させ、全滅させられました。天佑神助が働いたのです。民主党も、私共が真剣に

祈り、動く事により、神によつて今年は掃蕩されるでしょう。日本国民と世界人類の安寧をお祈り下さる今上陛下の御稜威を戴き、生かされている私達(昭和・平成両陛下の挿話割愛)皆様は、日本を照らし、世界を照らす光なのです。

この運動への思い

北海道 瀧見秀子

嘗て心ある雑誌上に、鎌田理事長のご文章が連載されておりました。  
魂高く生きる女性としての感性豊かな深き赤き心は、私の心の『日本の心』を篤く燃やして下さいました。

私のこの運動への想いを表現するならば、畏れ多い事ですが、これらのご文章のお題を頂戴して私の想いとさせて戴きたいと思つたのです。  
それは、「歴代天皇陛下の御心を背びらに受けて一母体保護法改正に挑む決意」

(四頁上段へ)

(三頁下段より)

「一億二千万の中絶大国から天  
皇国日本の真姿顕現へ」という  
ものです。鎌田理事長の万分の  
一の薄さしかない私の想いです  
が、私の想いはこれより他には  
ないのです。

そして今胸に強く迫るもの  
は、「平成の御代のうちに憲法改  
正と母体保護法改正を実現成就  
して、陛下の御心を安んじ奉り  
たい。」という想いです。

昭和天皇さまは、終戦をもつ  
て国民を護り、生命を懸け国民  
を飢餓からお救い下さいまし  
た。それなのに今日日本の人口は  
日本人自身の手によって、ゼロ  
に向って坂を転がっています。

数々の信じ難い憂える国情に  
対し、歴代天皇様の御心を心と  
されておられる今上陛下は、石  
清水八幡宮に御親拝になられま  
した。国の存亡に際し、捨て身  
の祈りをされた亀山上皇様・孝  
明天皇様と同じ金銀の御幣を奉  
納され、「孝明天皇と同じ様式・  
同じ儀式で参拝したい。」と申し  
出られたとあります。

我々国民はこの事を重く受け  
止め、全ての国民が陛下の御心  
を受け、想いを正さなければな  
らない。それが正常な国の有様  
だと思えます。

両陛下は大震災の瓦礫の前で  
尊くもお祈り下さいました。

私はその時、燦然と輝く全て  
を甦らし給う曙光に、被災者が、  
そして全国民が包まれているこ  
とを直感して感激し、かつて優  
生保護法改正運動に無念の涙を  
呑んだ想いと申し訳なさとが重  
なり、思わず号泣しておりまし  
た。そして両陛下の温かく強き  
御守りを人々に伝えたいと心底  
思いました。

日本に生まれた幸を感じなが  
ら、私に何が出来たのかと今新  
たに思います。何としても母体  
保護法改正を実現せねばなりま  
せん。

神に祈りつつ、一步一步言葉  
にして伝えさせて頂きます。「ま  
たその話しかい。」と言われても  
「ハイッ、解って下さって有難  
うございます。」と笑顔で返しつ  
つ、「胎児の中絶は殺人です。中  
絶によって家族も社会も、自業  
自得の悲惨な渦に翻弄されるの  
です。」とお話して参ります。



### 中絶違法化は当たり前のこと

「日本独立宣言」主筆 田口圭

村上正邦氏が中絶違法化をかか  
げ、参議院選挙に当選したのが昭和  
55年6月ですので、私が4歳の頃  
になります。当然こういつた中絶違  
法化運動があったことを知らず、運  
動の存在を知ったのは大学を卒業し  
てからになります。マスコミが中絶  
の問題を報道してこなかったのが大  
きな原因です。

私が小学6年生のときに、「少子高  
齢化」による財源不足から消費税が  
議論されましたが、その少子高  
齢化の原因である「中絶」については  
テレビなどで一切触れられることは  
ありませんでした。

よく日本人の死因のトップに「癌」  
や「自殺」が挙げられています。現  
在、自洽体へ報告されている限りで年3  
0万人が「中絶」で殺され、闇での  
数を含めると約100万人程度と言  
われています。「日本人の死因のトッ  
プは中絶です。」それを報道しないマ  
スコミも悪い。

そもそもGHQの占領政策は、日  
本を弱体化させることでした。敵国  
であった日本の人口を減らして国力  
を衰退させるために、(経済的事情に  
よる)中絶が合法化されました。

私は、この「経済的事情による」  
という表現に非常に疑問を持っ  
ています。実際に、ゴミのように  
胎児を殺すことが許される法律  
が存在すれば、そうしてもよいと  
思う母親も出てくるわけで、社会  
の意識というのには法律に影響さ  
れるわけで、「母体保護法(旧憂  
生保護法)を変えなければ、意識  
は変わらない」のだと思います。

村上正邦氏の中絶違法化を潰  
したのは自民党内の森山真弓で  
すが、彼女は東京裁判での通訳を  
やっていました。中絶合法化を認  
めるか否かは、そのままGHQの  
占領政策を認めるか否かと同義  
です。まさにGHQの傀儡が本性  
を剥き出しにしたと言えるでし  
よう。自民党だからといって信用  
できません。そこから自民党の凋  
落が始まったと思います。もし自  
民党が中絶違法化を実現してい  
たら、自民党の凋落はなかったと  
思います。

さて、フェミニニストが提示する  
論拠のうち最大のものは「経済力  
もないのに子供を産んで育てら  
れるのか？」というもので、それ  
に対しては、実際のところ、私は

私は養子制度の法律上の不備を  
直さないといけないと思えます。

日本は「単身者は養子が取れな  
い」です。また「夫婦でも養子  
を取るのに家庭裁判所の許可が  
要る」など、そういった制度上の  
不備が残っています。そもそもフ  
ェミニニスト裁判官が多い家庭裁  
判所が妥当な判断をすると思  
えません。家族法判例百選には、  
寺院の跡取りとして養子をとろ  
うとした事例について、双方合意  
しているにも関わらず、家庭裁判  
所が許可をしなかった事例が紹  
介されています。(次号へ続く)

#### ○編集後記

昨年9月の米子市での講演会  
をかきりに、全国での出張講演  
会を予定しています。北海道から  
九州まで、幹部の方にご相談さ  
せて頂きます。ご協力を宜しくお願  
い致します。

